

ラガーブラック (10番) を寄せつけず、オグリキャップの楽勝



重賞のシンザン記念を含めて短距離戦に4連勝中のラガーブラック。この日も2、3番手の絶好のポジションをキープして自信たっぷりのレースを進めていたのだが、3〜4コーナーで意外にもたついていく。

この時、苦しむ「本命馬」と対照的に勢いよく進出していったのがオグリキャップだった。後方からぐんぐん追い込んで、直線の中ほどであつという間に抜け出していた。東海公営で12戦10勝、2着2回という抜群の成績を残し、これが中央のデビュー戦だった。

「これは強い馬だね」
ファンの驚きの声があがる3馬身後方では、ようやくラガーブラックが2着を死守していた。

中央初登場、 これは強いぞ、 オグリキャップ

第2回ペガサスS(GIII)

3月26日 阪神 1600m 重良 10頭 1分35秒6 オグリキャップ
単 380円 連複 418 400円
河内洋 瀬戸口勉厩舎 馬主・佐橋五十雄氏 生産者・稲葉不奈男氏



▶父タンニングキャップ、母ホワイトナルビー(父シルバーシャーク)。クラシックの登録はないが、名マイラーの素質を感じさせる

第35回毎日杯(GIII)

3月27日 阪神 2000m 晴 重 10頭 2分04秒8 オグリキャップ
単 220円 連複 3-8 440円
河内洋 瀬戸口勉厩舎 馬主・佐橋五十雄氏 生産者・稲葉不奈男氏

クラシック未登録、それでも、 オグリキャップ

▶泥の飛び交う4コーナー、オグリキャップ(帽色桃・右)は大外



素晴らしい強さでペガサスを制したオグリキャップだが、残念なことに、クラシック登録されていなかった。いくら強い馬でも、ルール上、皐月賞にもダービーにも出走できないことになる。
中央2戦目は毎日杯。距離が400m延びて、この後東上してクラシックを目指そうかという馬も加わったが、今日も実に印象的なレースだった。3コーナーではいったん最後方まで下がりながらも、4コーナーから直線は9頭をこぼす抜き。2着ファンドリデクターとの差はクビ差ときわどくとも、強かった。クラシック未登録がいかに惜しまれる。

◀ゴール直前、ファンドリデクターをクビ差とらえた

